



校長 齊木 邦彦

「がんばれ！西高生」「くじけるな！西高生」

学校は失敗を恐れず、いろいろなことに挑戦していいところです。できた、できなかったという結果はどうでもいい、とまでは言いませんが、もっと大事なことは、まずやってみること、試してみることです。その中で自分の知らない力が自分にあることに気づく、このことは自分の知らない自分というものを尊重することにつながります。

科学的な考え方というものが進んできて、人が毎日生きていくことをいろいろな種類の力を使って生きていくと分析し、それぞれの力を育てることが求められています。そこに目標と評価ということが強調されて言われるようになりました。目標に向かって歩む人生、そしてその歩みを確かなものにするために評価する、という捉え方です。

目標を持つことは大事ですが、あまり目標を意識しすぎると、目標になかなか近づけない自分に苛立ち、我慢して地道に継続していくべきところを、次々とやり方を変えてみたり、この目標は無理だと早々と諦めてしまったり、もったいないことです。

評価については一面的な評価でなく多面的、総合的な評価が望まし

いとされますが、あまり行き過ぎるのも考えものです。私は校長としての評価で、たとえば生徒や先生に対する優しさが足りない、と指摘されたら、そうできるよう努力するでしょうが、総合的な評価で低い評価をもたらしたら、努力する前に倒れて寝込んでしまいそうです。

日々の取り組みを充実させるための目標や評価が、それを意識しすぎると、本来の精一杯生きるという自然で簡単なことが妨げられてしまうのです。目標や評価にとられず、受験勉強においても無心で取り組んで行った先に大学合格という結果が「たまたま」待っていた、そういうきわめて自然な本来の時間の流れが理想だと思います。

暑い夏が終わり、めっきり秋らしくなってきました。小学生が運動会で運動場を元気に走り回るのを見て「あの頃はよかった、ところが今は・・・」なんて思わないでください。皆さんにとっては、今、高校生である今が一番いい時だと私は思います。

今はつらいけど大学生になったら明るい未来が開ける、と思うことはあるかもしれませんが、でも大学生になってからのことはその時楽しめばいい、今は高校生としての時間を味わってほしいと思います。受験勉強に打ち込んでいる3年生の皆さん、受験生としての生活に没頭してください。人生は常に今が一番、今が一番いい時なのです。

(後期始業式でのあいさつより)

復興ボランティアに参加して～甲府西高吹奏楽部～

吹奏楽部は8月3日に、山梨県代表として「みやぎ総文」に参加しました。その演奏翌日に、ボランティアとして仙台市荒浜地区の清掃活動を行った後、震災遺構となった荒浜小学校の見学をしました。



「海岸清掃ボランティア」に参加して

今回、初めて被災地を訪れ、テレビで見るより何倍も、当時の状況がはっきりと思い浮かべられました。まばらに立っている松の木、基礎しか残っていない家の跡、誰もいない平らな土地など、荒浜を襲った津波の大きさを目の当たりにしました。同じ日本に住んでいるのに、こんなにも震災のことを知らなかったのだと悲しく思いました。

荒浜小学校も見学させていただき、もし自分がこのような状況に陥ったらと、とても心が痛みました。荒浜の人達の心を全て知ることができたわけではないけれど、忘れてはいけないこの痛みを感じることができたのは、私たちにとってもプラスになることであり、もっとたくさんの人に知ってもらいたいと思いました。震災が起こってから、今まで何一つ被災地のために何かをすることはできなかったのですが、今回、少しでも困っている人の助けになることができ、嬉しかったです。

これから私たちにできるのは、まず震災についてもっと知ること、それを忘れないことだと思います。そして、私たちが毎日生きて、普通の生活をして、吹奏楽ができるのは、当たり前ではないのだということに自覚し、感謝の気持ちを忘れずに生きていきたいと思いました。

2年 船井星南(御坂中)

美術部 第43回UTY教育美術展 文部科学大臣賞受賞

引退前最後の作品で受賞できたことをとても嬉しく思います。この絵のモデルは三年間過ごした美術室です。タイトルの「淘汰」の本来の意味は「適切なものを以外を除き去る」ですが、これを肯定的に捉えたとき、「美術部として過ごす中で、自分の本当にやりたいことが分かっていった」という絵のコンセプトとの重なりを感じ、タイトルを「淘汰」としました。中学生の皆さんが西高という場所で自分のやりたいことと出会うよう応援しています。

3年 鈴木紗英子(山梨大附属中)



Kofu Nishi High School

山梨県立甲府西高等学校

〒400-0064 山梨県甲府市下飯田4丁目1-1
TEL:055-228-5161 FAX:055-228-5164
URL <http://www.nishi.kai.ed.jp/>

発行日/2017.10 編集/広報委員会



*stage /steɪdʒ/

[[立っている場所]が原義] — ㊦ ㊧ ㊨ ㊩ ㊪ ㊫ ㊬ ㊭ ㊮ ㊯ ㊰ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

- 1 舞台、ステージ(◆世界の象徴)
- 2 [活動の]舞台、場所 [for, of]
- 3 (発達・発展などの)段階、時期

用例) 1 N-stage 西高生の時代(時期)
2 N-stage 西高生の活動舞台

vol. 51

2017.10 甲府西高情報誌

西高のステージへ!

nstage

山梨県立甲府西高等学校
Kofu Nishi High School



自分を信じる

学校説明会 ~たくさんのご来場ありがとうございました~

7月23日、コラニー文化ホールにおいて学校説明会を開催しました。約1200名(中学生とその保護者)の皆様方にお越しいただき、西高の生活や部活動の様子、そして入試情報などを紹介・説明させていただきました。



会場いっぱいの来場者



呈茶でおもてなし



校長が西高について説明



本校教員による入試説明



進路状況を生徒が紹介



西高の特色を分かりやすく紹介



来場者の疑問に答えた個別相談



ポスターによる部活動紹介



会場を湧かせた吹奏楽部の演奏

中学生の感想

- ・学校説明会の中で「勉強と部活の両立」という言葉が一番心に残っている。自分も高校生活と、その後の進路も充実したものにできるよう努力したい。
- ・卒業生たちの意見を聞いたり、在校生による説明だったり、生徒の方々が話すことで西高がどんな高校なのか知ることができてよかったです。
- ・みなさんの西高でのがんばりがとても伝わってきました。勉強も部活も一生懸命に取り組み、学園祭も全力で、とても楽しそうでした。

オープンスクール ~ようこそ西高へ~

9月2日、甲府西高校を会場として「オープンスクール」を開催し、中学生とその保護者あわせて約1100名の方にお越しいただきました。中学生のみなさんには体験授業と本校在校生との懇談会、保護者の方は説明会と校内見学というスタイルで行いました。部活動の自由見学も行われ、短い時間でしたが西高での高校生活がイメージできたのではないのでしょうか。



中学生の前で緊張



音楽部が校歌で中学生を歓迎



校長先生のおもてなし



電子黒板で英語の授業



生徒との懇談会は大好評



保護者の方に西高の特色を紹介



在校生が中学生の疑問に何でも答える



数学の授業でなにやら?



放送部で編集作業を体験



校内はさながら学園祭

中学生の感想

- ・西高の明るい自由な様子や楽しそうな雰囲気が伝わってきた。
- ・体験授業が面白かった。本格的な授業を受けられた。
- ・活動を取り入れた授業がとても楽しかった。
- ・懇談会がとても面白かった。先輩方がとても優しくて親しみやすかった。

みやぎ総文:2017

高校文化系部のインターハイ「全国高等学校総合文化祭」が7/31~8/4宮城県で開催され、西高生も6つの部から7部門に参加しました。



吹奏楽部門

みやぎ総文祭では楽曲「富士山」とおとして山梨県の魅力を伝えました。また私たち自身震災から復興へ進む東北の高校生から新たな「力」をいただくことができました。
吹奏楽部 2年 小林環(上条中)



将棋部門

全国の強豪と対局できる貴重な機会でした。一局一局大切にそして楽しんで指そうと心掛け、第5位に入賞という成績は嬉しかったです。
囲碁・将棋部 3年 山内敦貴(増穂中)



新聞部門

この3日間の研修取材と新聞製作でさらに多くの知識と技術を学ぶことができました。また、震災についてもお話を聞く機会があり、貴重な経験となりました。
新聞部 1年 佐原茉莉(山梨学院中)



放送部門

全国の舞台上で発表できたことは私にとって一生の誇りです。沢山の応援もいただき、幸せ者でした。この東北の地での経験を糧に、これからもチャレンジしていきます。
放送部 3年 中沢芽伊(韭崎西中)



写真部門

やはり全国のレベルは高く、作品の一つ一つから作者の思いが伝わる写真ばかりでした。東北のこの地で感じたことを忘れず、これからも自分のテーマを見つけて撮っていこうと思います。
写真部 3年 佐野啓(鯉沢中)



文芸部門

昨年に続き参加することができ、大変楽しい経験をさせていただきました。文章を書く上での悩みや楽しさを全国の方々と共有でき、文芸部としての3年間の良い締めくくりができました。
文芸部 3年 青柳百音(甲府西中)



囲碁部門

みやぎ総文祭では県代表の団体戦メンバーのひとりとして出場しました。成績は全体のなかでも上位半分には入っていたので、来年度はもっと上位を目指していきたいと思います。
囲碁・将棋部 2年 望月雄真(竜王中)

総体(インターハイ)



はばたけ世界へ 南東北総体2017

平成29年度 全国高等学校総合体育大会「インターハイ」 この夏のインターハイ(全国高校総体)に水泳部の田切くん(3年)と体操部の渡邊さん(1年)が出場しました。

水泳部

全国高等学校総合体育大会(インターハイ)出場
関東高等学校水泳競技大会・えひめ国体水泳競技大会 出場
全国大会ではレベルの高さを実感することができました。この貴重な経験を今後の高校生活に生かしたいです。
3年 田切和也(玉穂中)



体操部

全国高等学校総合体育大会(インターハイ)出場
全国大会ということで周りのレベルが高かったのですが、自分の演技をミスなくできたので、とても良い経験となりました。みなさんも西高体操部に入部してみませんか!?
1年 渡邊花歩(玉穂中)



陸上部 新人戦で男子総合3位

- 第63回山梨県高等学校陸上競技新人大会 男子総合3位 女子総合8位
以下の9種目で関東大会出場が決定
1. 男子400m ハードル 3位 2年 功刀隼二郎(白根巨摩中)
 2. 男子走り幅跳び 2位 2年 横地龍弥(甲西中)
 3. 男子110m ハードル 1位 2年 横地龍弥(甲西中)
 4. 男子400m 1位 1年 功刀友貴(甲府北中)
 5. 男子砲丸投げ 2位 1年 三井玄(甲府南中)
 6. 男子4x100m リレー 3位
1年鎌倉裕朗(山梨大附属中)/2年横地龍弥(甲西中)/2年功刀隼二郎(白根巨摩中)/1年功刀友貴(甲府北中)
 7. 男子4x400m リレー 1位
2年古屋大樹(富竹中)/1年鎌倉裕朗(山梨大附属中)/2年功刀隼二郎(白根巨摩中)/1年功刀友貴(甲府北中)
 8. 女子棒高跳び 2位(大会新記録) 2年 矢野野乃花(玉穂中)
 9. 女子走高跳び 2位 2年 高田純乃(山梨大附属中)



新チームで出場した初の大会は今後の方針を決める重要な大会となりました。チームや個人での課題も見つかり、新たな目標に向け日々練習しています。今後も応援をお願いします。
2年 古屋大樹(富竹中)

放送部 YBS放送コンテストで各種入賞

YBS杯県下放送コンテスト
アナウンス部門第1位 2年 深沢有佳(若草中)
アナウンス部門第2位 1年 佐藤実優(田富中)
ラジオ制作部門第3位 「小さな弁当 大きな愛情」
1年生8名、2年生5名の新体制で参加しました。不安もありましたが、今の私たちができる限りの力を発揮した作品・発表が評価され、部員全員が成長した大会でした。
2年 佐藤ゆき(勝沼中)

バスケット部 1年生大会2連覇

仲間との人間関係を何より大切に1年生大会に挑みました。声を掛け合い、ピンチをチャンスに変えて闘い抜きました。これからも西高でバスケットができることに感謝し、日々精進していきます。
1年 野村青生(山梨北中)

